

CO₂排出量削減ロードマップ

		2025年度まで	2030年度まで	2050年度まで
CO ₂ 削減目標 (2020年度比)			Scope 1・2 ▲ 42%	Scope 1・2 ▲100%
			Scope 3 ▲ 13%	Scope 3 ▲ 37%
Scope 1 2020年度実績 3.9 万t-CO ₂ (Scope 1・2 の64%)	建設現場	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネの徹底 ・低炭素燃料の導入推進 ・電動フォークリフトの導入 ：2025年度末100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネの徹底継続 ・低炭素燃料の本格導入 ・電動重機の本格導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・CN燃料・重機・工法等の活用推進 (技術開発・実用化の状況に応じ)
	オフィス等	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネの徹底 ・ハイブリッド車・EV車の一部導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネの徹底継続 ・EV車の本格導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・CN燃料・設備等の活用推進 (技術開発・実用化の状況に応じ)
Scope 2 2020年度実績 2.2 万t-CO ₂ (Scope 1・2 の36%)	建設現場	<ul style="list-style-type: none"> ・再エネ電力の導入拡大 ：長谷工コーポレーションは2023年5月に100%再エネ化 ：グループ各社も2025年末までに100%再エネ化予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用電力の100%再エネ化 (2026年度以降、スコープ2 ゼロ) 	
	オフィス等	<ul style="list-style-type: none"> ・再エネ電力の導入拡大 ：長谷工コーポレーションのオフィスは2022年度に100%再エネ化 ：その他の施設も2026年度には100%再エネ化予定 		
Scope 3 2020年度実績 550 万t-CO ₂	建設資材等 (Category1)	<ul style="list-style-type: none"> ・H-BAコンクリートの活用推進 ・低炭素資材の調査・研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・H-BAコンクリートの活用推進 ：2030年度 採用件数50%以上 ・低炭素資材の活用推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・CN資材の活用推進 (技術開発・実用化の状況に応じ)
	建物の使用段階 (Category11)	<ul style="list-style-type: none"> ・自社グループ主体の開発マンション（分譲・賃貸） ：ZEH-M Oriented 標準化（2022年度設計着手分より） ・設計・施工案件におけるZEH-M化提案の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・新築マンション ZEH-M Oriented化 ：2030年度 100% ・更なる環境性能向上に向けた調査・研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・新築マンションのCN化推進 ・既築マンションのCN改修の推進 (技術開発・実用化の状況に応じ)